

検査ニュース

No.111

ご挨拶

平素より、佐賀県医師会成人病予防センター業務には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今回は、「検査実施料新設」と「ワクチン抗体価検査」についてご案内申し上げます。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

● 検査実施料が新設された検査項目 (平成22年12月1日から適用)

検査項目	保険点数	判断料	診療報酬点数表区分	備考
肺炎球菌細胞壁抗原(定性)	210点	免疫学的検査判断料 (※5: 144点)	「DO12」 感染症免疫学的検査の23	ア. 肺炎球菌細胞壁抗原(定性)は、「23」の尿中肺炎球菌荚膜抗原に準じて算定する。 イ. 喀痰又は上咽頭ぬぐいを検体として、イムノクロマト法により、肺炎又は下気道感染症の診断に用いた場合に算定する。 ウ. 尿中肺炎球菌荚膜抗原と併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。

肺炎球菌性肺炎は、細菌性肺炎のなかでも重症化しやすい疾患であり、特に高齢者では注意が必要です。本感染症は、適切な抗菌薬治療により容易に改善されるため、迅速かつ正確な診断が求められています。イムノクロマト法を用いた肺炎球菌抗原検出キットです。院内検査に用いられてはいかがでしょうか。

● 就職・就学の準備として、4種ワクチン抗体検査をご紹介します

検査方法によって検出できる抗体の種類や感度が異なります。感度の低い検査方法では抗体陰性者が多くなり、ワクチン接種対象者が増加します。抗体をどの程度保持していればウイルス感染を防御できるか、明確にすることは困難ですが、下記内容にてワクチン接種の目安をご紹介します。



◇検査項目とワクチン接種の目安となるウイルス抗体価

項目コード No.	検査項目	基準値	ワクチン接種の目安となるウイルス抗体価
1997	麻疹ウイルスIgG[EIA]	2.0未満(-)	(-)、(±)もしくは6.0(+)-8.0(+) より低値の抗体価
1890	麻疹ウイルス[PA]ワクチン		「陰性」もしくは「16倍、32倍、64倍」 の低い抗体価
1991	風疹ウイルスIgG[EIA]	2.0未満(-)	(-)、(±)もしくは5.0(+)-8.0(+) より低値の抗体価
409	風疹ウイルス[HI]	8倍未満	8倍未満ないし8倍の場合
1985	水痘・帯状ヘルペスウイルスIgG[EIA]	2.0未満(-)	(-)、(±)もしくは5.0(+)-8.0(+) より低値の抗体価
1891	水痘・帯状ヘルペスウイルス[IAHA]	2倍未満	2倍未満ないし4倍の場合
2017	ムンプスウイルスIgG[EIA]	2.0未満(-)	(-)、(±)もしくは8.0(+) より低値の抗体価